

2011年度鳥取県生活協同組合 『生活と暮らしに関するアンケート』の結果について

サブ・デ 古川 義 秀

1. 『生活と暮らしに関するアンケート』分析の目的

2020

な

2020

- 生活と暮らしに関するアンケートの結果を分析し、生活協同組合の活動に活用する。
- 生活と暮らしに関するアンケートの結果を分析し、生活協同組合の活動に活用する。
- 生活と暮らしに関するアンケートの結果を分析し、生活協同組合の活動に活用する。

2. 鳥取県の概況

22

23

3. 食や生活等に関する意識について

(1)

9

40

60

ル 6

・サ 3

れ 1

、 1

1

5

23

度

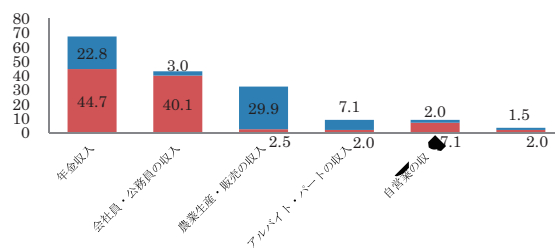
2

農林水産部 独、選、奥

111

【中山間地域】

鳥取市中山間地域モデル集落实態調査報告書²によると、中山間地域では、世帯収入で最も多いのが年金収入で、次いで、会社員・公務員の収入となっている。また、今後も高齢化、世帯人口の減少が進んでいくことから、主たる収入が年金収入となる世帯の増加が見込まれる。



また、集落に住んでいての不安は、約4割の世帯が、病院や買い物に行くのに交通機関が不便であったり、身近に買い物ができる場所がないなどを上げており、今後、そのような世帯の増加が予測される。

情報関連システムについては、連絡をとるための手段として、中山間地域全体では、固定電話が9割弱、携帯電話が7割弱、携帯電話（メール）が3割強となっているが、同地域の独居高齢者世帯では、固定電話は9割弱あるものの、携帯電話が約3割、携帯電話（メール）及びパソコン（メール）は1割となっている。

の 入 については、高齢者の の世帯、18 の世帯、その の世帯とも、6割 上の世帯が らお に くとしているが、高齢者の の世帯は を しているが、18 の世帯では買い物は に んでいるが、 の世帯より高い割 を している。

に、高齢者の の世帯の の が1割強ではあるが、 の世帯より多いのは、交通機関や買い物ができる場所がないなどの集落に住んでいての不安を る つの手段を しているとも

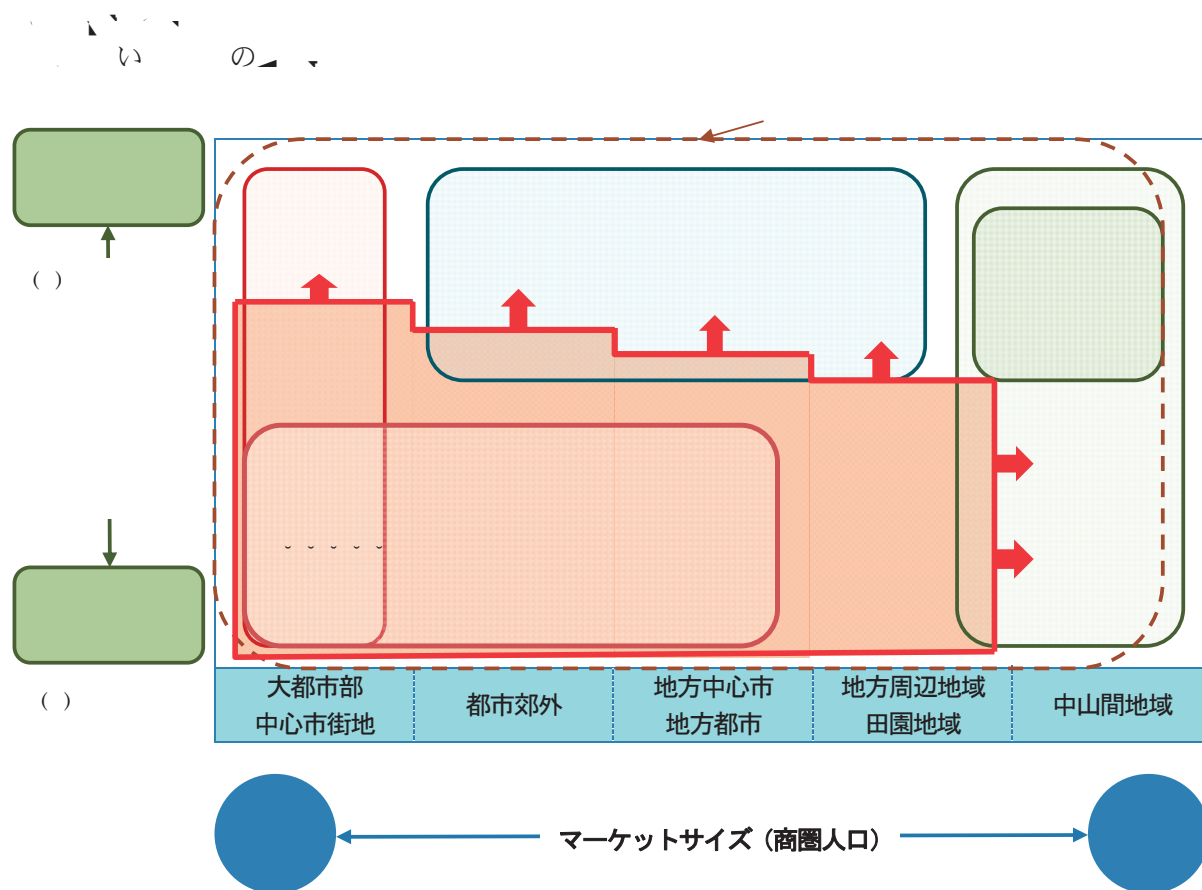
、 シ ー の は、今後、 T機に ん 人の増加や、 パ ルなど いやさの上 により、増加が予測されるものであるが、 シ ー を った通 は、鳥取 員が約3割あるのに し、中山間地域では0 と なっているため、 T機 の 進を うと

² 鳥取市は、中山間地域の や地域住 の を し、同市の中山間地域 になる の を るため、 21年 に中山間地域の10集落をモデル集落として 定し調査を行った。

る場合、IT機器の利用方法について講習等を行うこととする。

4. 共同購入・宅配に関する意識について

合、の、の、について、8の合、の、といと、
 力の、と、い、2、いつ、に、
 うに、い、1、と、ている



を、る、の、方、に、る、い、の、と
 について 2009 12 10

の、を、る、の、方、に、る、い、
 の、と、について、い、の、る、こ、に、と、い、力、
 の、に、い、ほ、い、に、て、い、る、
 に、う、に、る、に、の、い、
 等を、に、い、こ、い、い、を、い、とい、い、
 力の、い、い、に、行、こ、等、の、とい、
 を、る、の、に、の、
 に、いて、に、いて、の、1、に、い、に、行、の、に、機、

高齢化の進展もともない、移動販売や宅配のニーズが高まってきている。しかし、宅配については、当該アンケートでは個配は必要ないが約4割、手数料が しいが約3割となつて、23 でも、宅配と移動販売 も るでし、宅配は移動販売の約14 しか、宅配 の について る必要がる。

が、 は とる において、 に との 化、 になる。い の の になる。二 の の 展 るとは、 るの な しの に で る でな、 になる、 としても がる。しかし、 の ン る の 、 が る、 必 の ー において、 配 - 移動手 が、 にとって トの となるのも である。

のアンケート か る は、 の や の つつも、 も にま か ないが、 し、 いは必要 に ない になる。に高齢化 の高い においては、 な が の が い、 が にな ると、 の でのい とい、 になる にも、 な 展 トの る必要がる。